

成形圖說

菜蔬部

二十九

庫	文	閣	內
一九	二九		和
番	四		書
一	三		
八	〇		
架	冊	號	類



內閣文庫	
番號	和 29438
冊數	30 (29)
函號	196 96

和 11140 類



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



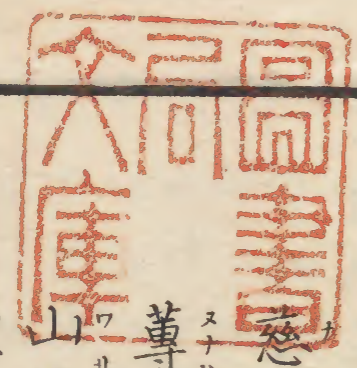
© Kodak, 2007 TM: Kodak



同
79



成形圖



慈姑

蕁

山葵

辣米菜

烏芋



說卷之二十九

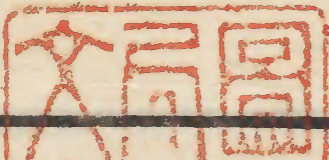
附
岳芥

内
一一二〇號



堀
文庫

成形圖說卷之二十九



成形圖說卷之二十九

菜部 水菜類

世利書紀○又神代紀○曾利○列里和訓葉に世利○

通加通美の本三艸和名○按此今美與利艸長平和名三世

官私記左右近藏人野里海の食物と細進す○引て

乃名をいふ一か行在所わて取はしり宮成と遠志ふ里

乃名をいふ一か行在所わて取はしり宮成と遠志ふ里

乃名をいふ一か行在所わて取はしり宮成と遠志ふ里

乃名をいふ一か行在所わて取はしり宮成と遠志ふ里

乃名をいふ一か行在所わて取はしり宮成と遠志ふ里

内一二三〇條

成形圖說卷之二十九

二

子芥の書或ハと彫古今集の川葉
 小芥湯煮て樂に食ふ也
 花と根をろくも摘む
 州と根をろくも摘む
 子芥と根をろくも摘む
 安佐良能因根芥和訓菜子根と賞すは河の
 し田芥の是枕根芥和訓菜子根と賞すは河の
 水田子生るの時と指やる也○芥あどは田乃
 水急録○呂氏春秋菜之美者有雲夢之芥芥亦作
 水芹別録○呂氏春秋菜之美者有雲夢之芥芥亦作
 葵の名亦此よ芥菜薄采其芥注芥水菜也楚葵文
 了出小身
 苦蘄水英本以州上水茹水菜物異名

蕃名ペートル セーリ

延喜内膳式子芥四把惟四升自正月迄六月又曰營芥一段苗五石
 二月殖と河是代奉用の菜あれば別子芥種られ
 と石然上自正月迄六月と河は二月殖といふ
 未歳乃稼シツあるみやみ此地三月をスギさぬは根茎乃老
 て風顔劣フウするのあぐど水煙の卵とさほの憂ウレ河
 本州の説子の水芥早芥として池沼子生あといひ
 平地ツチおまると早芥といふし河れど共子溼潤ウルホる地
 らでハ育ウチぐし春菘とば芥の菰菜として正月人日の
 糝コナカキ子入るのそ芳香カラハシキと欣賞に出雲風土記稻河出芥と
 成形成圖説卷之二十九



鳥芋
クロクモ草

剪刀草
ハナクモ草



水芹
セリ

えさの心草従心月飾の如く芥かどら餅ハ清息之れ
させあふ清齒くさめは餅を敷まへらぬ中ふ芥は
清か也ちひの中よてつらまの可ぬ○赤莖の如く
状畧相似る如く綱目亦菜部子収る子也此ハ微毒
あり此間の人服食をのちし因て茲子載せど
不可食 ○芥ハ臘月より莖葉を発生て莖節稜わ
り中実なる
其幹多くハ舒倒て毛子その尺許毎節子楮とちり
四月の頃碎白花を攢簇し花謝て小実を結ぶあり
乃苗辺類如しの法邑ハ冬の中氷雪掃ちて株本丸に凋
ざらゆる此等乃田沢に生る水芥ハ殊きくハ莖葉肥軟

くて脆薄食ふは渣と留む味交子母美し○一説ハ重
汚砂秘蔵妙等に惠具ハ水芥の異名あり俗名と仲実と
贈答の如け番子急ぎとると送哥ハ世利と詠まらる
急ぎとせり同物を童蒙抄ハ急ぎとせりひとら物の名
と云るらと云く此れと葉葉集の注子急ぎハ烏芋也
や何る子標してそよし次條ハ出ぬ○凡早春に芥根
と連て引採り水で洗ひ浄て沸湯に論り菹とせ壻とも
或ハ羹臍ハ加ハ炒瀉子盛子そ翠乃包鮮らく芥芳あり
てハ氣と葉ハ唐の杜子美が竹子香芥碧澗羹と似あ
備馬架ハ小芥とゆぐともうゆしと軟へるハむらし

あり玩賞の場あるの一境あり○柳芥ハ其葉の柳ハ似
 するも味厚し山芥てふも葉太くも刻缺多し其ハ
 柔子肥ゆる地を生け加りて必別種ハ何れとみ紅毛
 芥ハ根色蒼し蕃名セルデリ一是也○此の精と書ハ
 氣と書し伏熱と去り石薬此毒と殺ハ此地主治多し豈
 下ふとみはべらんや本艸弘景云論其主治合在下品列子云
 宋有田父暨春東作自曝於日不知天下之有廣厦隩室綿
 纊狐貉顧謂其妻曰日之暄入莫知者以獻吾君當有厚賞
 也其室告之曰昔人有美我葵甘菜莖芥萍子對鄉豪稱之
 鄉豪取嘗之置於口慘於腹衆晒之又嵇叔夜與山巨源絶

交書云野人有快曝背而美芥子欲獻之至尊後世遂有獻
 芥之說實無所出嵇叔夜合而言之耳○萬葉集天平元年
 班田之時使役山背國贈薩妙觀命婦等所歌副芥子裏茵
 さにひるはさひて野羽の氷に味子採る芥これ○
 紀納言池亭記芥園八之二芥田七之一蝸安其舍風樂
 其縫○其冬のおは芥の葉に法乃菘子と看く視どや
 えど信ておれと看へば慈と見る母孝其の類ありハ
 食ふべしと張仲景が金匱要略に春夏之交を色て芥
 春月芥の穀北の便求て泥と芥と先水芥と好め蓋冬
 肥月芥の穀北の便求て泥と芥と先水芥と好め蓋冬
 謀と信く亦自坊の性み慣ふあむをぬ

氣味甘性おもし毒なし商陸ヤモクサと同しく食ふおとあ
 水○主治精と膏の氣を養し勝ハナを利ユラ○鼻ハナ衄ハナは芥薊セリアサミ
 を接モミて汁を用ふ一本にこの二味を接モミてその汁を鼻
 に入ウチゆと所り○又方手ナスミ腕ウデと濡ヌルし百會ヒヤクエ穴アナに充アテて熨ノシ斗
 子火ヒと細シ少シし熱アツ子アツのどノドに手テ腕ウデ乃ナラ上ウヘと熨ノシぐし○小兒コエ瘡カサ
 孔アナ吐クダシ瘡カサするス芥葉セリアハ細シに割キレて濃コク煎センじ一服イツボクのみ一盞イツサン許アタ一
 お二三ニ好スみてよし一以上イ和ワ方ホ

久ク和ワ為ナ和ワ名ナ鈔シャウ○庭テ訓クニ性セイ其キ子シ田テン鳥ウ子シ
 久ク呂ロ久ク和ワ為ナ和ワ本ホン形ケイ子シ州シウ惠エ具ク萬マン葉エフ水スイ芋イモ山サン須ス斤ケ新シン撰ケン字ジ鏡キョウ
 和ワ為ナ和ワ名ナ鈔シャウ○庭テ訓クニ性セイ其キ子シ田テン鳥ウ子シ
 久ク呂ロ久ク和ワ為ナ和ワ本ホン形ケイ子シ州シウ惠エ具ク萬マン葉エフ水スイ芋イモ山サン須ス斤ケ新シン撰ケン字ジ鏡キョウ

子シ按アツ子シ集シツ韻イン昨サク水スイ芋イモ也ヤ韻イン會クワイ昨サク藉セツ也ヤ蓋カフ藉セツ
 茄カとト近キンしシ又マタ山サン須ス斤ケ小コ葉エフ状ジョウとト指シしシ言ゴン也ヤ黑クワク具ク夜ヤ和ワ訓クニ

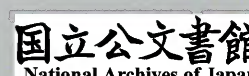
太タ蘭ラン食シキ本ホン朝チャウ尻シ刺シ油ユ管カン米メ喫キツ田テン鳥ウ芋イモ
 烏ウ芋イモ別ベツ錄ロク芍シャク鳥ウ薤サウ薤サウ亦イ作サク薤サウ以上イ爾ニ雅ヤ勃ハク臍セ黑クワク三サン棱レイ以上イ
 烏ウ芋イモ別ベツ錄ロク芍シャク鳥ウ薤サウ薤サウ亦イ作サク薤サウ以上イ爾ニ雅ヤ勃ハク臍セ黑クワク三サン棱レイ以上イ

地チ栗リ通ツウ水スイ芋イモ出シュツ雜ザツ要ヤウ訣ケツ○廣クワン雅ヤ水スイ芋イモ又マタ曰イツ烏ウ芋イモ土ツ栗リ異イ事ジ物ブツ
 地チ栗リ通ツウ水スイ芋イモ出シュツ雜ザツ要ヤウ訣ケツ○廣クワン雅ヤ水スイ芋イモ又マタ曰イツ烏ウ芋イモ土ツ栗リ異イ事ジ物ブツ

久ク和ワ為ナとトはハ黑クワク丸ワ薤サウ了リョウ言ゴンのノ形ケイ也ヤ九ク輪リンとト反カン了リョウ黑クワク
 久ク和ワ為ナとトはハ黑クワク丸ワ薤サウ了リョウ言ゴンのノ形ケイ也ヤ九ク輪リンとト反カン了リョウ黑クワク

ハハ芋イモ根コンとト滑クワツ薤サウハハ其キ幹カンとト滑クワツ也ヤ琢タク玉ギョク雜ザツ字ジ子シ芋イモ薤サウ夏カ種シュウ冬トウ掘クワツ
 ハハ芋イモ根コンとト滑クワツ薤サウハハ其キ幹カンとト滑クワツ也ヤ琢タク玉ギョク雜ザツ字ジ子シ芋イモ薤サウ夏カ種シュウ冬トウ掘クワツ

成形圖說卷之二十九



子一説子狗兒艸^{エノコヅカ}あり其根の類^シか^シが狗兒頭^{エヌコノアヘ}子^シ似^シたり
 為^キと害^エハ常^ニ子^シ無^ク子^シ詞^ニあり又田鳥芋^{ツカラスイモ}と^モい^ハひ^ハ約^ツて田^カ
 芋^{イモ}と^モ呼^ヨび^ル鳥芋^{カラスイモ}と^モ此^ノ根^ノの^ニ異^ニく^テモ芋鳥^{カチ}の^ノ喙^{クハシ}か^シに^ハ状^{カチ}と
 又^モ若^クくと^モス^ルる^ル○此^ノもの^ハ春^ノ分^ノの^ノ頃^ノあり^テ茎^ノと^モ苗^ノ也^シ
 燈^ジ心^シ艸^カ子^シ似^テて^ハ枝^ノ葉^ノか^シ高^クまり^のの^ハ之^ハ四^尺子^シ至^ル其^ノ根^ノ
 白^ク弱^クあり^テ節^ノ毎^ニ子^シ顆^トと^モ生^ジに^ハ連^ル藕^ノの^ノお^と率^ニ行^クゆ^キと^モ苗^ノ也^シ
 ど^モ子^シ粒^ノあり^テハ^ハ肉^ノ子^シ粒^ノべ^シ方^ノな^レバ^ハ衝^キ劣^テ根^ノ延^ビぶ^ル
 あり^テ連^ル茄^ノ子^シつ^レて^ハ顆^トを^モ産^スる^ル芋^ノ子^シ似^テて^ハ毛^ノ髮^ノ生^シし^テ既^ニ
 ハ^ハ山^ノし^レ丸^ノ一^ノ顆^トあり^テ子^シと^モ節^ノと^モ生^スる^ルお^と三^十許^ノあり^テ
 ぶ^キ子^シ秋^ノ子^シつ^レり^テ掘^リ採^リ皮^ノを^モ剥^キて^ハ生^タぐ^ルと^モ煮^テて^ハ食^ス

子味栗^ノの^ノ如^シ○此^ノを^モ收^メ蓄^シハ^ハ土^ノを^モ掘^リ白^ク沙^ノの中^ノ子^シ埋^メ置^ク
 べ^シ若^ク斯^クな^レバ^ハ秋^ノ季^ノ子^シ採^リし^テ或^ハ翌^ニ夏^ノハ^ハ水^ノ果^ノ子^シか^シど^モ用^ス
 子^シは^ハか^シら^ハ切^リて^ハ味^ノ清^ク美^クあり^テ芋^ノ子^シを^モ自^ラと^モ芽^ノ或^ハ苗^ノ
 也^シ之^ノと^モ缺^カべ^シし^テ或^ハ虚^ノと^モあり^テ其^ノ苗^ノと^モあり^テ子^シハ^ハ芽^ノと^モ苗^ノ
 し^テ或^ハ種^ノべ^シ倘^シ水^ノ中^ノに^ハそ^レま^シる^ルと^モ霜^ノ子^シ値^テて^ハ朽^レ索^ノぬ^ル存^ス
 子^シ冬^ノ春^ノ掘^リ取^リ收^メ為^ス果^トと^モハ^ハ野^ノ生^スる^ル即^チ鳥^ノ芋^ノの^ノ自^ラ
 生^ミて^ハ形^ノ稍^シ小^シ実^ハ一^ノ種^トあり^テ春^ノの^ノ頃^ノ也^シを^モ掘^リとり^て生^ス
 ち^グり^テ或^ハ一^ノ味^ノ亦^ハ栗^ノ子^シか^シん^ニ似^ルる^ル是^ノを^モ葉^ノ集^メ春^ノの^ノ飲^ミ
 お^もめる^ル葉^ノが^ハふ^ルと^モ山^ノ田^ノの^ノ沢^ノ子^シ之^ノ具^ノ摘^ムと^モ雪^ノけ^ノの^ノ水^ノ子^シ葉^ノ
 也^シを^モね^レぬ^ルと^モ亦^ハ其^ノもの^ノを^モ注^スみ^テ之^ノを^モ煮^クば^ハ鳥^ノ芋^ノ也^シと^モス^ル也^シ

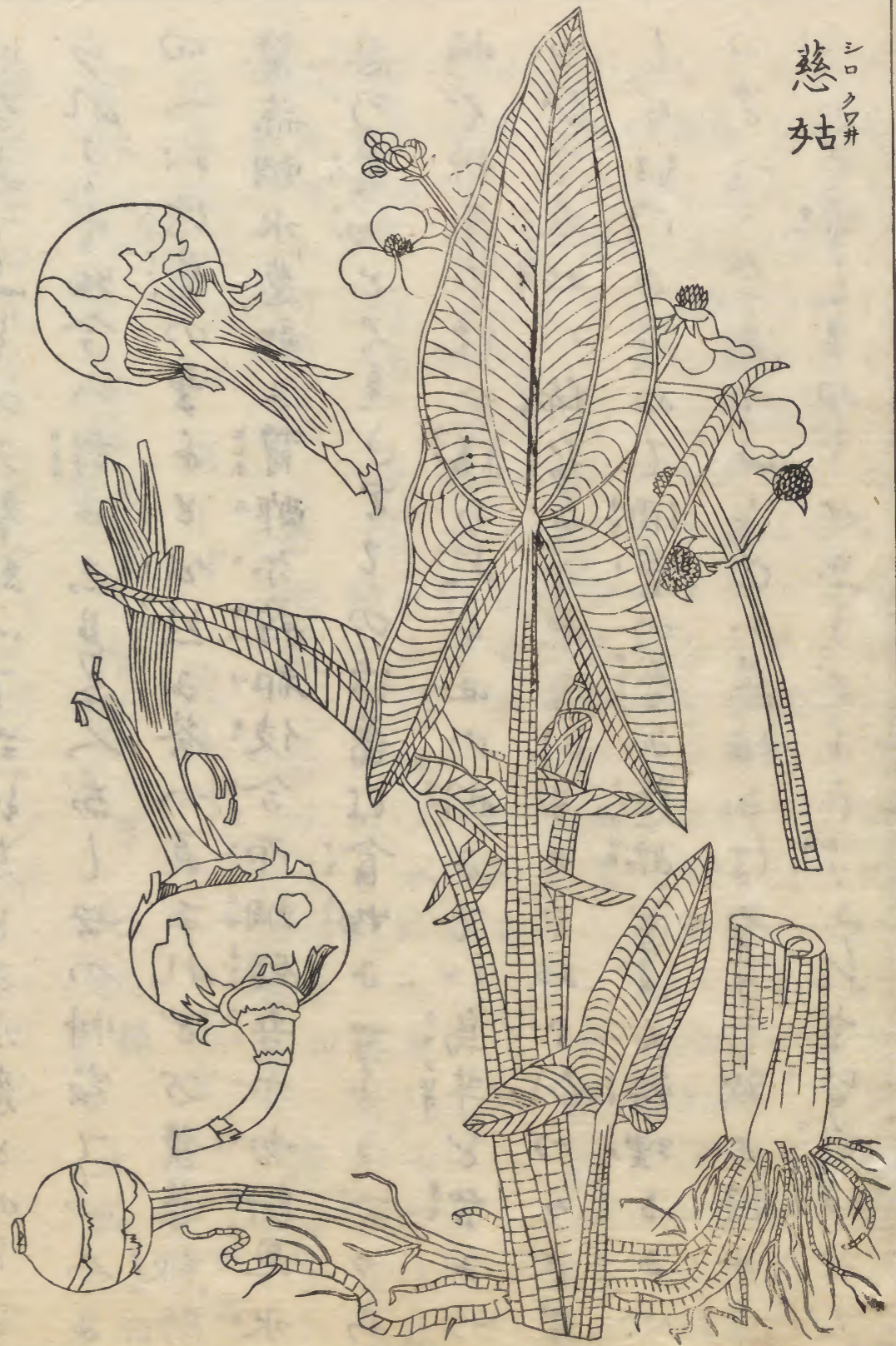
名希しとおもふ和名引唐韻膠口中上膠也名阿
 岐と石の膠と漢の同字也漢の膠尾の形も似し
 小岐と石の膠と漢の同字也漢の膠尾の形も似し
 しと石の膠と漢の同字也漢の膠尾の形も似し
 と石の膠と漢の同字也漢の膠尾の形も似し
 慈姑葉の状ありて面高と
 海苔の葉の状ありて面高と
 刀州の花久和為
 慈姑華 藉姑 水萍 姑以上別録 ○本州和名引陶景注籍
 の或曰芋 河鳧茈 白地栗 剪刀州 苗名以
 水慈菰 以上救 槎子州 蕪尾州 以上
 田酥 昆陵 菰菇 品字 酢實 正字 茈菰 會韻 大蘇 通雅
 蕃名ゴロート セルペンツトング

此奈義了ふその天智紀以下式抄おとみ水葱とのと裁
 られくそ物今ハ詳み志する人あし其の州家了ふ人
 四一ハ浮菰の事よと公然子答へ子されど万葉集詠酢
 醬蒜鯛水葱歌み醬酢尔蒜都伎合而鯛願吾尔勿所見水
 葱乃煮物と云えこの浮菰は食物みせらるべから
 ぬぞ州家の説ハ信られぬ西の州みてハ鳥茅と云みつ
 うひて慈姑ハ稀なるゆゑそれごとおひつらざり
 しら江門みおぬて酒菜の羹子慈姑と多く料理るみ心
 つまつ、奈義了ふそのハ慈姑あはれととれを京
 人お質しまゆせ東うとみおすこれぞ皆前説がぶ



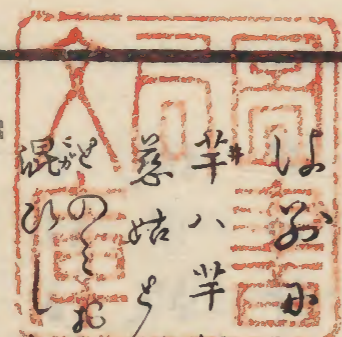
蓮

慈姑 シロクワ



と浮蕃ミツクイフヒとのと決タツくいては、半子ハシとど順鈔ジュンシャウ引唐韻インタウオン穀
 水菜可食也水菜音斛玉篇穀揚氏漢語鈔水葱奈木と出
 し輔仁鈔子引七卷食經穀菜一名水葱和名奈岐とん
 え和名選みは辭艸云那宜と何に據子當時み葱姑て
 ふ文字ハ鳥芋ウツクサの一名ありてこの奈義みえべき字か
 きがゆるみ辭菜の字擬當て用ひひて書紀みも式か
 とも水葱のと奈義と引みしどれみ穀の義ハ波カ
 法の之がうど法くは穀の事み心つうどひとの浮
 蕃と註ミありるべしさてそ存ハ漢人とむりし鳥芋
 と葱姑ととば同し物子誤ミ混カひて在艸子中一條子記

しとと明の時珍ぞ始て二物子ハ別カち記して在ハ
本艸云茨菘二種絶二物子水の中子ハ生ハぬハ
異混合注釋為不精也也ハ二物子水の中子ハ生ハぬハ
ども眼ハとと然異ある物みし何れを吾のひりし
 一同し物とは心得ぬ何どに鳥芋とシク井と漬と葱姑



水葱の字と假用ひしとハおもるハ和名抄の
半ハ半類子收て水葱ハ水菜類み也ヤ是時珍ハ鳥芋と
葱姑と依未ど二物子分らざる前あれハ葱姑と鳥芋の名
混ひのしおハ水葱の字南方艸水状子據ハ水葱花葉皆
 如鹿葱色有紅黃紫三種出始興婦人懷妊佩其花生男者
 即此花非鹿葱也綱目時珍云蒼葱山原平地皆有之生沙
 地者名沙葱生水澤者名水葱此水葱也とおもるハ此ハ

野山蘭ヤマランの方こそ近まものにて奈幾ナヰのハ何ナニじ又穀の
 字ハ唐韻トウオンの水菜可食也と云ハバ是慈姑チコの古名ありし
 を云々ウツツづくツク又穀と辭の字ハ作カクはわろし又順抄ジュンシャウ
 にもあるハサシオモダカにて穀とハおたろくが故あり又
 綱目救荒コウカウ等の水葱ハ今の太蘭タイランあり又田鳥子テンジョウなどの字
 シワ井シワイと讀せしハ小町海コマチウミの鹽シホに知チる破ヤカ道ミチみけ白葱
 乃田鳥子ノテンジョウ何ナニと云々て注に田鳥子ハくじ井也と云ハ
 里今サトイマ採ツクみ此白ハ慈姑チコにて黒ハ鳥芋トリイモありべし本艸集解
云皮厚色
 黒肉硬而白者謂之猪勃臍チノク皮薄澤色淡紫肉軟而脆者謂
 之羊勃臍チノク正二月采食之此二等藥中罕用荒歲人多采以
 充糧チノク按猪羊を以て名を分チノクけこれらハ慈姑と鳥芋と
 とのハ正白の二種あるべし

共トモ子コくクじジ井イとト訓ニセシるルハ鳥芋トリイモとト主オモとトセシあハむスて古
 小コ井イとト訓ニセシるルハ鳥芋トリイモとト主オモとトセシあハむスて古
 より才蔬菜サイソウサイとしシるルハ慈姑チコにて今イマの東國トウクニに多くオホクなり
 此コノ圓マダラハしがぬくみぞ内膳式供奉雜菜ウチゼンシキホウバウサツサイ芹セリの次ツギハ水葱ミヅネギ四
 把ツク准スベテ四ヨ升シヨウ五イ又マタ漬秋菜ヅクアキサイ料リョウハ水葱ミヅネギ十トウ石シヨク料リョウ塩糟シホゾウ漬ヅク小水葱コミヅネギ一
 石イシ升シヨウ汁糟ジユゾウ五イ斗ト又マタ營水葱エイミヅネギ一段イツタン苗ネ二十ニジュウ圍イ總單功ソウゼンク五十三イツジュウサン人ニン
 耕カウ地チ二ニ遍ヘン把犁カラスキリ一人イツニン馭牛ウケウシ一人イツニン牛ウシ一イツ頭トウ料リョウ理リ平ヘイ和ワ一人イツニン糞コノ百ヒャク
 二ニ十ジュウ擔タン運ウン單功ゼンク廿ニジュウ人ニン殖功シヨク十五イツジュウ人ニン五イツ播ハク殖シヨク三サン度ト十五イツジュウ人ニン度ト別ベツ
 株功ケツク十五イツジュウ人ニン度ト又マタ田チ六ロク段タン二ニ百ヒャク三サン十ジュウ四シヨウ步フ種タネ片水葱ヘンミヅネギ料リョウ採ツク子コ
 苗ネとト何ナニれレハハ顆カクとト殖シヨク子コ水ミヅ葱ネギ又マタ薤シノ菹ゾ子コ採ツク功クとト何ナニるル子コ同ドウし

子ハ葉を採り非じ芋の如きハ極功と云ふ芥の如きハ
刈功と云り○一種小水葱コナギ子者ハ枝荒本叶ハ謂剪刀
叶ハ葉をべし万葉子葉代ナハレのこぶが花と衣キヌ子榻タあり
おにくるせり如あし布ハルカスミ露春日カの里子サト子葱コナギ花
可カと云し枝エは分サレり上毛野カミシケいろほの沼ヌに植ウ子水葱コナギ
かくこひむとや種タネをともあふんハは子コうウ葱コナギこぶコは芥カイ子
古事記傳コトワザ子コうウ葱コナギこぶコは芥カイ子コうウ葱コナギこぶコは芥カイ子
さば田サバ子コうウ葱コナギこぶコは芥カイ子コうウ葱コナギこぶコは芥カイ子
同意あり万葉代マンヤク記キ子コ奈義ナギハ喜キの水菜ミヅナ子コ花ハをうウ
くし子コものモノと云えつりと解トクる此葱コナギ姑ナギハ單ヒトの小コ白シロ花ハと
云くと淡紫ウスムラサキの花ハさくと云一ヒト種ヒトタネ堆葉タカハの花ハ地チ大オホきくて紅

ある者モノ子コ盆種ハチノタネおどおして只管ヒタスラ花ハと賣ウるシふ雨アメれ
バいおしつに小コなぎの花ハと云ハ此号コノナギの種タネかましと
云るべくつ和漢圖會ワカンズ子コ一種ヒトタネ有アル小コ而シテ如トシテ獨頭蘭根ドウトランコン者モノ煮シ
食シ之ヲ味ミ更佳ニヨシ撰津次センツジ田村タムラ多出タラシク之ヲ綱目コウジツ云福州別フクシウ有アル一種ヒトタネ小
異ヒト四時采根シヨウシと云貝原本叶カハ曰イハレオモダカ葉ハハ葱シロ姑ナギ子コ似ニて
異ヒト葉ハ莖シロ葱ナギ姑ナギより小コあり葉ハ細ホソくシテ葉ハのキきれコと云
しハ六月ロクゲツ草クサ白シロ花ハと云ハ三片ミヒラのハ一種ヒトタネ干葉ハオモダカ葉ハ
小コ子コ花ハ干葉ハ子コて白シロし酸醬ホクツキのオ大オホきハ乃ハ如トシテ又マタ曰イハレアギナ
シハオモダカハの葉ハ子コ似ニつハ小コ叶ハ也ナリ七月シチゲツ白シロ花ハと云ハ三
出イあり是コノ小コオモダカハ欲ホシ是コノ子コ並ナリ古コノ謂イハレ小コ葱コナギ姑ナギありハべ

しむりしハ此の愛好てとてやせしめて衣紋ふつ
くるおもだらとちわぶあしとちあつおとあつおし
が如し此のあ田の中み自生あり根切しおに泥田可
渠水みゆき沙澤の地ちど皆枯るづし連根出て根端毎
小顆と着く大あるハみ六寸廻ふとある扁と圓とある
三月蒞出て夏まで根と採み時あり○凡一根よ
一歳み十二子と生れとみ握るも子そ子散在あり
く後ハ水の根と離れとるえとあり小慈姑の根は食
ふ子地一と
慈姑性若甘く性冷みして毒あしまく食ば齒と損ひ類

色と失ふ○主治小兒驚死さるるに生慈姑と研汁と白
蜜に和て灌ば頰み蕪るヨミカス 醫法 指南

沼索ヌハ 古事記○正澄妙に若菜葉の滑ちる滑とぬる
浮沼索ヌハ 万葉集○独衣みあも亦や田の池乃う
字鏡○蓋滑粘と一をぢみやほ若しあていふみ此
とて名あしあり滑州ナガノ 江の河の事と亦座禪ツル
画食ヒルメシ 花思葉オヒヒバ 河童蔓カハハヅル 小判コバン 根沼索ネヌハ 蓴菜ジュンサイ
拍子ヒツシ 似み苜蓿ミフサ とかく字シ 子シ 似るれ根沼索ネヌハ 蓴菜ジュンサイ
蓴菜ジュンサイ 別録ベツロク 和名ワナ 軟引カンイン 霜降スヤウキヤウ 以後イコノ 至二月シニニ 環蓴味ワヅル 八月ハチ 通名ツウナ
莼ジュン 絲シ 莼ジュン 甜體テンテイ 軟引カンイン 霜降スヤウキヤウ 以後イコノ 至二月シニニ 環蓴味ワヅル 八月ハチ 通名ツウナ
莼ジュン 詩毛シモ 莼ジュン 齊民要術サイミンヨウジュツ 水葵スイキ 疏詩スツシ 水戾スイリ 正義ジギ 露葵ロウキ 顔氏家訓ゲンシケケツン 胡承之コウシヤウ

真珠船云顏推之家訓云蔡朗父諱純改菀遂呼尊菜為露
 葵王維詩云松下清齋折露葵意謂帶露之葵不指尊菜蓋
 露葵非輞川所引有宋玉諷賦云烹露葵之羹曹植七啓云霜蓄
 の葵名并葵朗前亦不指尊菜也
 冬葵子誤の蓋
 尊龜 酉陽雜俎續集 浮菜 雅 龜 躡 州 通 雅 錦 帶
 躡 州 以上爾 淳菜 水芹 以上農書 躡 州 通 雅 錦 帶
 雅 翼 時 珍 云 春 夏 嫩 莖 未 葉 者 名 雅 尊 小 也 此 云
 雅 尊 時 珍 云 春 夏 嫩 莖 未 葉 者 名 雅 尊 小 也 此 云
 豬 尊 飼 豬 也 又 訛 為 現 尊 龜 尊 或 作 豬 尊 言 可 雉 尾 尊 芳 群
 譜 雅 油 尊 通 正 字 紫 尊 福州志 以上綱目
 應神紀の歌に依小網池のぬきは縁並多くと云々通澄
 曰沼繩乃幾あり此もの經年の陂塘池決み生るもの也

淡海の湖宮まいて味亦瑞まゝの長莖莖包いて初夏の
 頃より嫩子枝毎子忍冬の脂乃おと室朗する涎滑汁多
 く着く葉ハ水上に浮ぶ符み比ぶしバ楕圓且岐缺かし
 而之嫩子莖と採く者としそ凝脂の煮る葛粉乃おと
 ずもの此當に味頗清美あり三月あり八月あり氷脂
 多く軟あり即稚芽あり九月あり十月ありむり硬く小
 し若し即猪尊なり塩菜なりて遠子に委はべし仲夏蒼
 所の實に似るの菴暑み入て六英乃紅花とわく苜蓿の花
 子視せば稍小し塩に實成法ぶ中に細子成包ゆり子
 小才子墜て自生るもの也○万葉り歌あるゆづのた
 成形圖說卷之二十九 十六

申に浮ぬあはま^ハの妻^ウもよ^オりや^ウぬ^ウし^ウ此^ウ歌^ウ一
そ^ウふ^ウて^ウ此^ウを^ウの^ウ、あ^ウ中^ウに^ウ浮^ウき^ウ深^ウふ^ウ状^ウの^ウひ^ウ叶^ウ一^ウ著^ウし^ウ然^ウ
ど^ウも^ウ今^ウい^ウい^ウふ^ウ一^ウく^ウ地^ウ雅^ウ言^ウど^ウの^ウ化^ウ正^ウ約^ウ子^ウど^ウし^ウ或^ウハ
字^ウ音^ウ小^ウ轉^ウり^ウて^ウい^ウと^ウ怪^ウ一^ウく^ウ鄙^ウび^ウき^ウり^ウし^ウもの^ウな^ウど^ウを^ウ依^ウり
茅^ウ葉^ウと^ウ志^ウも^ウ皆^ウび^ウと^ウ沼^ウあ^ウは^ウな^ウど^ウい^ウらん^ウの^ウハ^ウ愛^ウや^ウう^ウに^ウす
あ^ウさ^ウる^ウが^ウ多^ウき^ウも^ウい^ウと^ウし^ウみ^ウ茅^ウ葉^ウと^ウな^ウら^ウ一^ウ知^ウく^ウぬ^ウ不^ウあ^ウ
と^ウん^ウく^ウく^ウ代^ウ函^ウ記^ウか^ウを^ウの^ウ轉^ウり^ウを^ウな^ウる^ウと^ウの^ウ、名^ウ色^ウ
た^ウま^ウは^ウ見^ウえ^ウれ^ウす^ウた^ウれ^ウい^ウの^ウ習^ウ純^ウぬ^ウま^ウど^ウい^ウの^ウと^ウ皆^ウく^ウ識^ウ人^ウ
掃^ウに^ウ驚^ウる^ウま^ウ、に^ウい^ウや^ウ一^ウと^ウ拍^ウ乃^ウる^ウく^ウ一^ウみ^ウ皆^ウぶ^ウあ^ウる^ウ名
と^ウ志^ウの^ウ家^ウ登^ウり^ウを^ウせ^ウみ^ウよ^ウび^ウく^ウそ^ウが^ウや^ウお^ウて^ウ實^ウ化^ウや^ウう^ウに

あり侍るゆゑに今乃物の名に昔にハみるどいや一
或ハ^カ澤^カめ^カ子^カて^カ拍^カら^カ一^カく^カ韓^カさ^カ一^カづ^カあ^カん^カが^カれ^カほ^カく^カ侍^カ
ぢ^カわ^カ或^カ人^カ大^カ和^カの^カ國^カ一^カま^カり^カり^カて^カ露^カ伴^カれ^カ池^カに^カ茅^カ葉^カや^カわ^カ
え^カさ^カせ^カよ^カと^カふ^カ乃^カ土^カ民^カ子^カや^カ侍^カり^カ志^カう^カば^カは^カら^カる^カ拍^カハ^カま^カり^カ侍^カ
ら^カど^カと^カあ^カふ^カ池^カお^カう^カら^カて^カ此^カあ^カる^カその^カ、状^カぞ^カとい^カ一
ば^カさ^カて^カは^カ多^カく^カ侍^カり^カ所^カお^カて^カは^カど^カび^カや^カく^カ志^カや^カう^カと^カあ^カん^カ
れ^カと^カて^カ多^カく^カと^カわ^カく^カえ^カさ^カせ^カの^カむ^カう^カし^カは^カぬ^カあ^カは^カ結^カぬ^カま^カは
か^カど^カそ^カ中^カら^カめ^カさ^カる^カと^カ神^カ樂^カの^カ時^カな^カど^カみ^カる^カ実^カ拍^カ子^カの^カ葉^カ乃
似^カこ^カる^カと^カお^カも^カい^カて^カ実^カ拍^カ子^カと^カ云^カと^カて^カ終^カど^カひ^カや^カく^カ志^カや^カう^カ
と^カは^カ一^カい^カひ^カあ^カさ^カれ^カと^カ万^カの^カ拍^カ乃^カ名^カ豊^カに^カあ^カず^カ一^カて^カ淺

ましう夢侍み子○秋、増基がき江乃道記子ぬあふの
 あがきと人乃あてまうできるとてあふるは以字
 といひてとらぬあてはるかみくはあつとめて返
 し、尚、時、ま、で、は、う、き、ぬ、あ、ち、ち、と、ろ、云、も、と、契、沖、の、次、ハ
 既、大、お、玉、さ、一、わ、く、記、で、て、は、お、一、く、地、の、名、も、い、也、一、く
 下、ち、ら、る、と、う、れ、と、子、わ、び、也、事、文、類、聚、云、張、翰、吳、郡、人、齊、
 時、執、權、翰、謂、同、郡、顧、榮、語、欲、去、意、榮、執、其、手、曰、吾、亦、與、子、採、
 南、山、蕨、飲、三、江、水、耳、翰、因、見、秋、風、起、乃、思、吳、中、菘、菜、尊、羹、鑪、
 魚、鱠、曰、人、生、貴、得、適、志、何、能、羈、官、數、千、里、以、要、名、爵、乎、遂、命、
 駕、歸、古、人、懲、然、敵、愾、の、風、今、は、希、と、亦、ら、れ、と、ま、わ、び、子、を、
 ○圖、書、集、成、引、因、話、錄、云、千、里、尊、羹、未、下、乃、地、名、此、二、處、產、此、物、
 煮、尊、羹、非、也、蓋、未、字、誤、書、為、未、下、乃、地、名、此、二、處、產、此、物、
 氣、味、甘、性、冷、み、て、毒、れ、し、○主、治、腸、胃、を、厚、し、水、と、逆、ふ

和、ロ、サ、ビ、ハ、和、名、鈔、ナ、○、字、鏡、子、萬、と、和、左、と、も、て、る、は、此、の、み、子、
 佐、備、は、茹、と、ナ、ス、ビ、鏡、子、萬、と、和、左、と、も、て、る、は、此、の、み、子、
 と、は、此、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
 欵、子、ハ、ツ、サ、イ、と、と、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
 法、に、ハ、ツ、サ、イ、と、と、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
 サ、ク、ハ、ツ、サ、イ、と、と、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、の、
 山、葵、本、艸、和、名、引、崔、禹、錫、食、經、山、葵、葉、和、以、比、漢、語、之、生、深、
 薑、二、字、所、出、未、詳、と、引、養、生、秘、要、山、葵、和、以、比、漢、語、之、生、深、
 子、按、以、明、術、音、罕、和、伏、備、あ、て、本、朝、式、等、に、山、薑、今、訛、ハ、
 焯、齊、民、要、術、音、罕、和、伏、備、あ、て、本、朝、式、等、に、山、薑、今、訛、ハ、
 と、以、法、子、焯、菜、證、類、草、字、之、訛、按、子、草、俗、作、焯、○正、字、通、
 凡、之、ぬ、子、焯、菜、證、類、草、字、之、訛、按、子、草、俗、作、焯、○正、字、通、
 ○浙、江、通、志、焯、菜、○焯、菜、○焯、菜、○焯、菜、○焯、菜、○焯、菜、
 菜、俗、名、山、芥、菜、水、芥、菜、本、救、荒、種、焯、字、之、訛、山、芥、菜、全、書、
 蕃、名、ト、口、ニ、キ、ユ、ム

和佐備ハ山州の葉子供の尤ものあり今季ニ蔬蕪子用
はは哉内ハ安藝あり致し東藩ハ駿河地方あり輸以此
その山涸水石漬く湖ある家に生ひ好子内膳式收贖殿
擬供御の中若狹越前丹後但馬因幡等の諸国凡一年の
中各国所貢の山薑並子一斗五升三度づくと載られ著
同葉 陸奥河院河院位の時所下人末重丹波、公葉原乃河
厨代、河院進の為子下上りる時件乃こくあやに山河
その山にわさび多くおひゆる地をきて取みはありき
アかどるえこり此等ハいみし一和佐備の産て宜しき
土地あらを東北ハ宍小南ハ宍し 藤内子てハ法縣
郡次木山やみ旬

生地の甚美子也此の肥の球摩郡内子つゞき
ハ沸泉の清冷の冬月ハ温小川とある水勢盛なり
夏乃日清冷の相て緑苔ハ温小川とある水勢盛なり
水旁の石縫と相て緑苔ハ温小川とある水勢盛なり
了る力と連れ捕らぬハ温小川とある水勢盛なり
之と力と連れ捕らぬハ温小川とある水勢盛なり
ハ歎冬子宵て細紋ハ温小川とある水勢盛なり
花と着けの形恰と種浸花子て根ハ赤歎冬子類て也
く硬く色多し味辛て芬芳ハ温小川とある水勢盛なり
子帰内に至る薑擦と以て泥とあし魚生子入壺子如て
完美好多と薑椒子如ぶるや西土子崔禹錫

辣米菜 カハダカナ



岳芥 タケカラシ



山葵 ワサビ

の傳へし山葵の名ハ寸えと宋の楊廷秀が金華詩裏初
 相識と詠ふてと波方古名乃詳あゝぬをしるべし
 其後此ものみは東垣の食物本艸子焯菜味辛生山谷泉
 石間根葉皆可食根尤佳○又山谷云孫嶠以砂卧焯食其
 苗○六書故云艸生山澗根辛芬可道○臨桂雜識云焯菜
 根白色柔脆質類地黄味辛辣性温出溪澗中○八閩通志
 云朱晦庵和劉屏山食焯詩小艸有辣性托根寒澗幽懦夫
 曾一啜感憤不能休○林洪山家清供云朱晦庵飲後以草
 菜供蔬肝江嚴陵人皆喜食之楊廷秀が謝送焯菜詩子學
 琴自有譜相鶴自有經蔬經我繙盡不見焯菜名金華詩裏

初相識王友尊前每相憶坐令芥孫姜子芽一見風流俱避
 席取士取名多失真向來許靖亦誤人君不見鄭花不得半
 山句却參魯直稱門生以上皆如佐備の事あり川芥岳芥
 和佐備共み同しく一種の物あり但根葉の異ありの
 と西土みてハ都て焯を以て啗ありみゆるハ救荒本艸
 の山芥菜も和佐備とぞおわらる
 氣味辛く温みして毒あり○主治禁を散し風と逐ひ濕
 と溼し積を消し瘡と下次最七病の劑とし急をの毒と
 蕎麥の毒を解かり食

川高菜

川芥 種浸花 北地種として此菜の花さく頃春田の水

此菜の花さく頃春田の水 種浸花 北地種として此菜の花さく頃春田の水

辣米菜 食物本艸菜系細子根葉可食 辣々菜 荒

蕃名無之

川高菜 乃鎮火祝詞に吾名妹命能所食上津国尔心惡子

乎生置氏來奴宣返坐氏更生子水神匏川菜植山姫四

種物乎生給氏此能心惡子乃心荒波曾水神匏植山姫川

菜字持氏鎮奉止礼教悟給支と阿是古の雅言ハ宣命祝詞

等につけて此川菜 乃の和名鈔ハ水菜類ハ辨色

立成と引て水苔一名河苔和名加波奈と出ぬ水苔河

苔乃苔の字と菜と訓ふかれむ川菜ハ水不生る菜

蔬の總称ハ是ける谷川氏ハ川菜ハ水苔の事なる

づし今を標升ハ芥を画くは火とほるの故実なる也

といひ今集の川菜ハ水苔と指す也凡蓮ハ川菜ハ水苔

骨也ハ川菜ハ水苔と指す也凡蓮ハ川菜ハ水苔

てかハ川菜ハ水苔と指す也凡蓮ハ川菜ハ水苔

て此ハ川菜ハ水苔と指す也凡蓮ハ川菜ハ水苔

成形圖説卷之二十九

二十二

ハ高立^{タカツタテ}る菜の名^ナありて又^{また}辛辣^{カラミ}の氣^キありと云^いふ此^{こゝ}と云^いふ
 川^{カハ}夕^{タツ}カナとは呼^よびしあ^あらん^{らん}但^{たゞ}西^{にし}州^{しゅう}ありて冬^{ふゆ}菘^{しゆ}の一種^{いっしゆ}子^こ
 辛^{から}き^かが^が甚^{じし}なる^{なる}の^の味^{あじ}は^は辛^{から}い^いし^しと^と云^いふ^ふ此^{こゝ}と^と云^いふ^ふ川^{カハ}夕^{タツ}カナ
 と^と云^いふ^ふ川^{カハ}夕^{タツ}カナ^ナの^の味^{あじ}は^は辛^{から}い^いし^しと^と云^いふ^ふ川^{カハ}夕^{タツ}カナ
 し^しと^と云^いふ^ふ川^{カハ}夕^{タツ}カナ^ナの^の味^{あじ}は^は辛^{から}い^いし^しと^と云^いふ^ふ川^{カハ}夕^{タツ}カナ
 是^{こゝ}と^と云^いふ^ふ川^{カハ}夕^{タツ}カナ^ナの^の味^{あじ}は^は辛^{から}い^いし^しと^と云^いふ^ふ川^{カハ}夕^{タツ}カナ
 る^る小^こ回^{わい}しく^く芥^{かい}子^しも^も水^{みづ}味^{あじ}も^もの^のに^にあ^あれ^れ昔^{むかし}ハ^ハ互^{たがひ}子^こ揉^{もみ}用^{もち}し^し
 が^がお^おわ^わる^るは^は○^〇此^{こゝ}も^もの^の川^{カハ}上^{じやう}に^に生^なる^る冬^{ふゆ}月^{つき}あり^{あり}菘^{しゆ}と^と布^ふて^て叢^{しゅう}
 生^なる^る紫^{むらさき}ハ^ハ沙^さ蘇^そ子^し水^{みづ}芥^{かい}乃^{なり}風^{かぜ}態^{たい}を^を侮^{おご}へ^へ
 里^{さと}春^{はる}月^{つき}に^にむ^むり^りて^て菘^{しゆ}也^{なり}とい^いは^はざる^{ざる}僅^{わずか}も^も三^{さん}四^し寸^{すん}あり^{あり}す^す候^{とき}
 地^ちの^のハ^ハ二^に月^{げつ}花^{はな}さ^さく^く多^た地^ちの^のハ^ハ三^{さん}四^し月^{げつ}に^に開^{ひらく}く^く花^{はな}嫩^{なな}々^々く

て^て後^{のち}白^{しろ}く^くか^かた^たり^り角^{かく}と^と結^{むす}ぶ^ぶ長^{なが}子^この^のハ^ハ二^に寸^{すん}子^こ作^{つく}り^り中^{ちゆう}
 小^こ子^この^の子^こを^を蒸^むす^す旬^{じゆん}裂^さて^て子^この^の地^ちを^を塗^ぬり^り生^なじ^じる^る○
 此^{こゝ}菜^{さい}の^の嫩^な時^{とき}根^ね菜^{さい}と^とつ^つら^ら細^こ切^ぎみ^みひ^ひと^とし^し揉^{もみ}て^て軽^{かろ}く^くと^と青^{あお}汁^{じゆ}
 と^と絞^{しぼ}り^り去^すり^り酢^す豆^{まめ}油^{あぶら}を^を浸^ひて^て生^な食^{じき}し^し或^{ある}ハ^ハ鹽^{しほ}を^を加^{くわ}へ^へ膾^{はい}に^に加^{くわ}
 せ^せれ^れバ^バ其^{その}の^の青^{あお}翠^{すい}鮮^{せん}み^み美^{うつく}し^し或^{ある}ハ^ハ研^{けん}碎^{さい}て^て火^かに^に焙^{やく}と^とき^きは^は辛^{から}
 く^く香^{かほ}しく^く人^{ひと}の^の口^{くち}を^を爽^{さわ}め^めし^し
 辛^{から}味^{あじ}辛^{から}辣^{らつ}み^みて^て温^{ぬる}か^かり^り毒^{どく}を^を消^{しょう}す^す生^な食^{じき}し^し胸^{むね}膈^{かく}の^の滯^{とど}氣^きを^を
 利^りし^し飲^のむ^むを^を消^{しょう}後^{のち}乃^{なり}冷^{ひや}や^やと^と去^する^る西^{にし}州^{しゅう}の^の俗^{じやく}積^{せき}塊^{たい}あり^りと^と
 の^の多^たく^く其^{その}の^の結^{むす}を^を切^きり^り多^たく^くし^し喉^{のど}を^を軽^{かろ}く^く者^{もの}が^がし^し
 岳^{たけ}芥^{かい}

一種の川菜あり必高の清水の石上に生る也田野家園
 子在大と罕あり仍て名と好する上野確水花紀伊那智
 山阿のハ本藩紫尾山中此ものハ其莖直立あり水青
 色ありその状ハ燈心龍菊の属に似て多くハ一莖あり
 葉と上ノ間ハ小枝と分つものあり葉水芥菜子類で青
 く翠あり夏月莖既に四辨乃白蘇と著莢と結ぶ子漸く
 に遠より種のおとくれの子を其根を並み種没花子
 葉ありと莖紫花味辛辣あり梅子六書故云焯菜好生高
 山泉源石上與石菖蒲一類又云艸生潤根辛芬可茹又正
 字通子草艸生山澤如蒲黄葉如芥以上の諸説皆岳芥の

輩あるべし山葵の漢名子照し乃を此もの人亦子移栽
 て生活ぐさし潔白愛敬とづく塵烟角度子は以べりら
 以又一奇艸あり○主治いまづ強ありとといへども種
 浸花の効と異ふとすし



成形圖說卷之二十九終

Blank page with a faint rectangular border and some ghosting of text from the reverse side.

